

第 12 回オンライン勉強会 アカアシカツオドリ放鳥場所の検討について

【日時】 2022 年 12 月 27 日（火） 20：00～22：00

【タイムテーブル】

20：00～20：20 放鳥's に運び込まれたアカアシカツオドリについて説明
20：20～21：30 自由討論
21：30～22：00 予備時間

【概要】

2021 年と 2022 年にそれぞれ 1 羽ずつアカアシカツオドリが放鳥ズに運び込まれた。2021 年の個体は、多くの方にご協力いただき、元の生息地と推測された小笠原諸島で放鳥を行い、2022 年の個体は保護地である滋賀県で放鳥することとなった。

この違いは救護を実施した放鳥ズの経験不足ということもひとつの要因ではあるが、救護の背景からリスクを軽減させるためであった。

救護原因はいずれも自然現象であるものの、その希少性から救護し放鳥することは間違いではなかったと感じているが、放鳥場所や放鳥方法については、将来の救護発展のためにまだまだ検討が必要であると強く感じている。特にアカアシカツオドリのような希少性や生息地に特殊性をもつ種については、多角的な考えが必要である。

野鳥救護や自然環境保全に関わる方々の様々な意見を聞き、今後の救護活動に活かしていきたいと考える。

【アカアシカツオドリ 2 号 経緯】

- 8/5 湖北付近の漁船に飛来を確認。
- 8/26 漁師が溺れていると思い、タモで掬い上げ保護。
船に乗せていたが飛んでいかなかったとのこと。
- 8/27 漁師に捕獲されているとの通報あり。
- 8/29 放鳥's にて回収。
ハト、ウズラと一緒にケージで飼育されていた。
血便。
- 8/30 血便。腹部の汚れがひどい。
1300 g。キール 3。
- 9/8 湖北に別のアカアシカツオドリ飛来。
- 9/24 別個体のいる付近で放鳥。
以降、たびたび目撃情報アリ。
- 10/30 琵琶湖での最後の目撃情報。

